

2021 年度

発行日 2021 年 5 月 12 日

鳥退教だより

鳥取県退職教職員協議会

責任者 秋久 正行

新型コロナウイルスの感染が始まって一年以上も経過し、その勢いは第 4 波を迎えています。さらに、変異型ウイルスの脅威にさらされており、国民の命と健康を守ると言いながら、犠牲者は一万人を超え、毎日何十人もの尊い命が失われています。先ずは、人間の英知を結集して感染を止めることです。新年度に入っても全国各地で感染の拡大はとどまるところを知りません。「経済優先」に**すが**っていても大切なものを守ることはできませんね。

《 「古賀ちかげさん」と語る会 》

4 月 7 日、第 26 回参議院選挙（2022 年 7 月予定）で日政連候補予定者「古賀ちかげさん」が鳥取県教組（各支部）を訪れ、鳥退教（7 人参加）とも意見交換を行いました。教育を取り巻く課題や退職者を取り巻く課題などを共有し、古賀さんが長年取り組んでこられた臨時採用教職員の組合結成の闘いを今後の取り組みに生かしていただくよう要請し、**こが**なええ人と、**ちから**を合わせて、**げんき**よく生きていこう！ と…

《 島根原発稼働の是非を問う住民投票を実現する取り組み 》

—— 地域の未来は地域で、私たち自身で決める！ ——

4 月 30 日、原子力規制委員会は、島根原発 2 号機の適合性審査を終了し、いよいよ「審査合格」が出されます。島根原発から 30 km 圏に位置する境港市・米子市では避難計画の策定が義務付けられました。島根原発稼働の是非についての「地元」であり「当事者」として、地域の産業、経済、住民のいのちや暮らし、子どもたちの未来に関わる重大な問題です。その是非を立地自治体・周辺自治体の議会や首長の判断のみで決めるのではなく、住民一人ひとりが責任をもって選択し、その意思を示す必要があります。その意思を示す機会として、住民投票の実現を目指しています。このたび、西部幹事の後藤さん、金森さんたちの取り組みによって、『住民投票を実現する会・米子』の結成総会が開催される運びとなりました。ご協力・ご支援をお願いします。

【 住民投票を実現する会・米子 結成総会 】

日時・会場 6 月 19 日（土） 15～17 時 コンベンション小ホール

内容 Ⅰ部 講演 河合 康明さん（共同代表） Ⅱ部 歌・リレートーク

《 2021 年度 鳥退教 会費徴収のお願い 》

・年会費 1,000 円 : 同封の振込用紙にて、郵便局でお願いします。

※可能であれば、本部・支部・役員に届けてください。